



日立ニュース

電源開発株式会社御母衣発電所納 137,500 kW フランス式水車用 ドラフトチューブ完成す

日立製作所日立工場では御母衣発電所納137,500kWフランス式水車2台を製作中であるが、本水車用ドラフトチューブ1基がこのほど完成し、近く現地へ向け発送されることになった。

御母衣発電所は岐阜県庄川水系に設置される完全な地下式発電所で、わが国はもちろん世界でも屈指の大容量のものであり、このドラフトチューブは最大水量75 m³/s を吐出すものである。また地下発電所であるため、発電所建家の掘さく量を節減するために、従来のものに比し比較的に幅が狭く、出口高さの高い形式が採用されている。

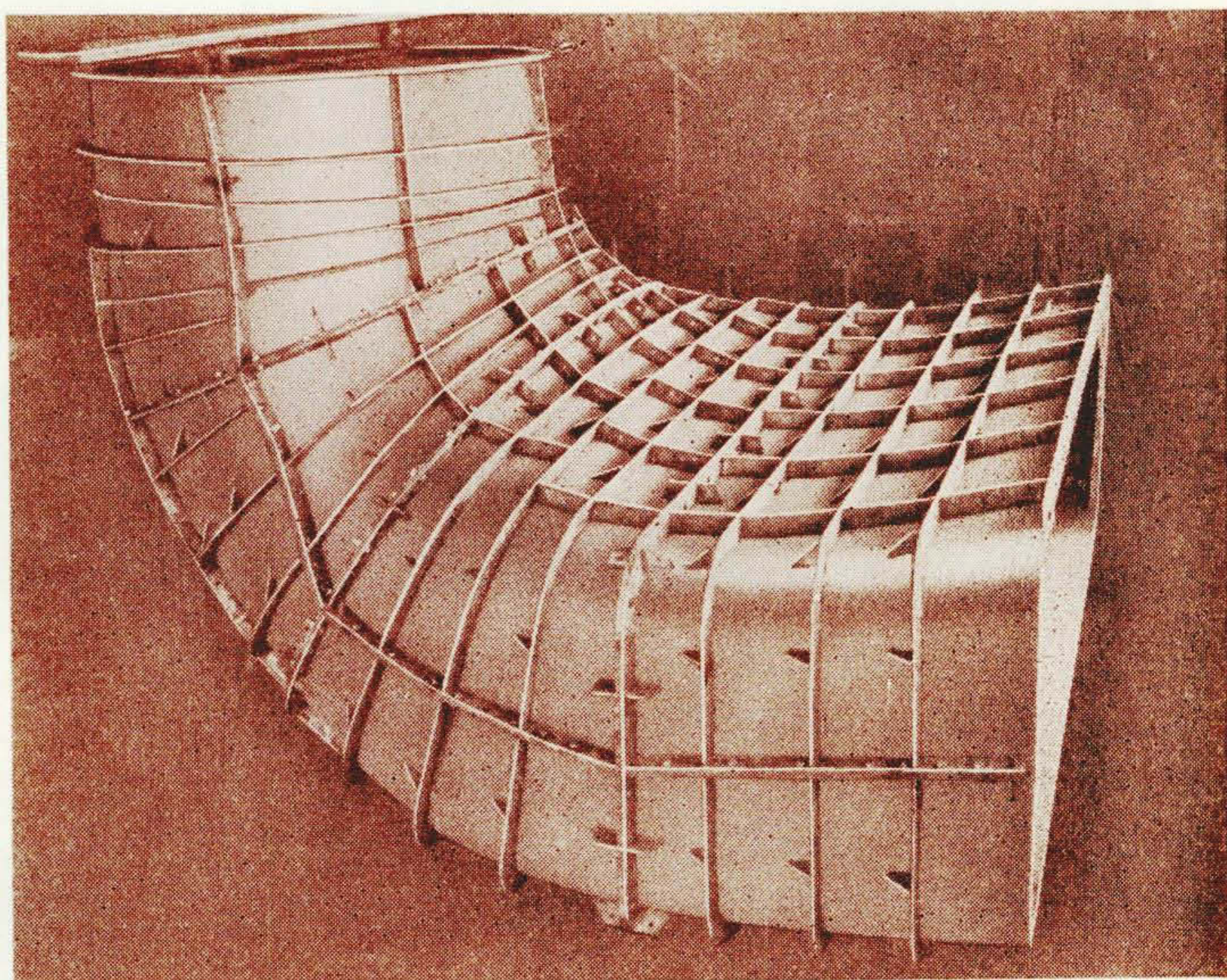
水車仕様

最大出力.....	137,500 kW
最高落差.....	200m
使用水量.....	76.6m ³ /s
回転数.....	225 rpm

八幡製鉄株式会社納

厚板分塊圧延機用 12,000 HP ミルモータ完成

八幡製鉄株式会社納厚板分塊圧延機用12,000 HP イルグナ設備一式が完成した。圧延機はドイツ SACK 社製二重逆転式である。本設備はわが国の記録品であることはもちろん、世界でも4台しかない大馬力のものである。制御方式は最近の自動制御の粋を採り、電気品全般にわたり、日立独自の方式が多数採用されている。上下ロールを別々の電動機で駆動する双電動機駆動式で、電動機は二重電機子型構造を採用し、直流発電機2,500kW 4台、蓄勢輪1台、9,000 HP 誘導電動機1台よりなる世界屈指のイルグナ変流機により給電する。発電機は積層継鉄とし、急激苛酷な負荷に対しても良好な整流を行い安定な運転を保つよう考慮されている。



第1図 137,500 kW フランス式水車用ドラフトチューブ

主な仕様

(1) 主電動機

出力	2×6,000 HP
型式	双電動機駆動二重電機子型 EFBL-SPKK 閉鎖他力通風型軸受 強制油循環方式
電圧	750 V
回転数	0-40 rpm (電圧制御) 40-80 rpm (界磁制御)
非常最大回転力	275% (1分間)

(2) イルグナ変流機

(i) 主直流発電機

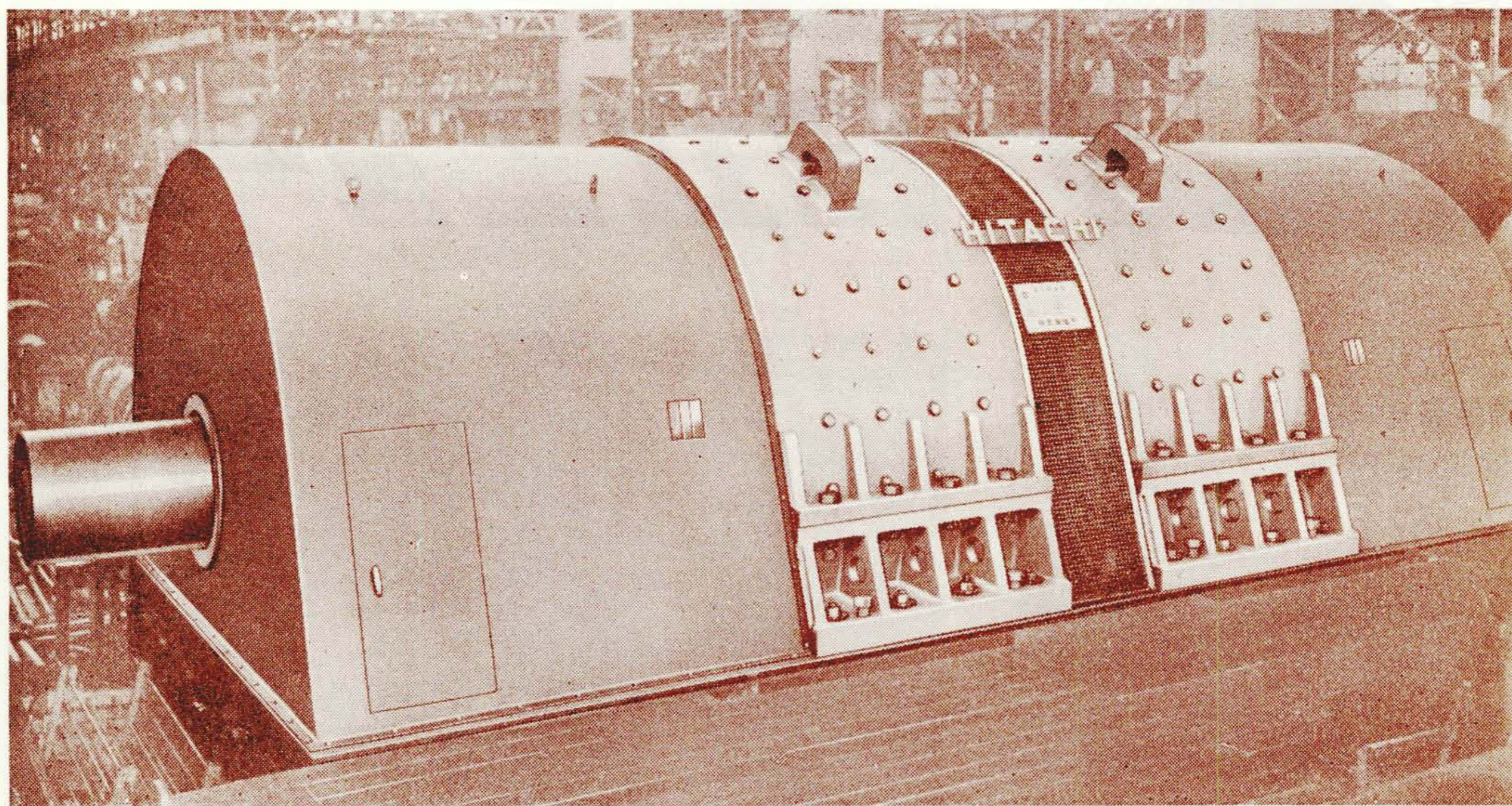
出力	2,500 kW
台数	4台
型式	EFBL-SPKK 閉鎖他力通風型軸受 強制油循環方式
電圧	750 V
回転数	514 rpm

(ii) 誘導電動機

出力	9,000 HP
台数	1台
型式	EFBDL-DRQ 閉鎖他力通風軸受強 制油循環方式巻線型
回転数	514 rpm
周波数	60~

(iii) 蓄勢輪

効果	225,000 HP-s
----	--------------



第2図 12,000 HP 圧延用直流電動機

電気品は主機の 12,000 HP 圧延用直流電動機, 10,000 kW イルグナ変流機を始め, 圧延補機, 励磁機, ポンプ, 送風機などの付属設備の末端に至るまですべて日立製作所が受注し製作を進め, 現在すでに現地据付が行われている。

これらはすべて制御盤から集中監視制御される。制御盤は操作机型とし, 指示計器は広角度目盛, 保護継電器は引出回転型を採用して集中監視制御と保守点検の便を図っている。3,000 V および 6,000 V 主回路器具は屋内用メタルクラットスイッチギヤとしてコンパクトにまとめられているから据付, 取扱は容易で保守は安全である。

八幡製鉄株式会社納 4,000 HP 2 極誘導電動機完成

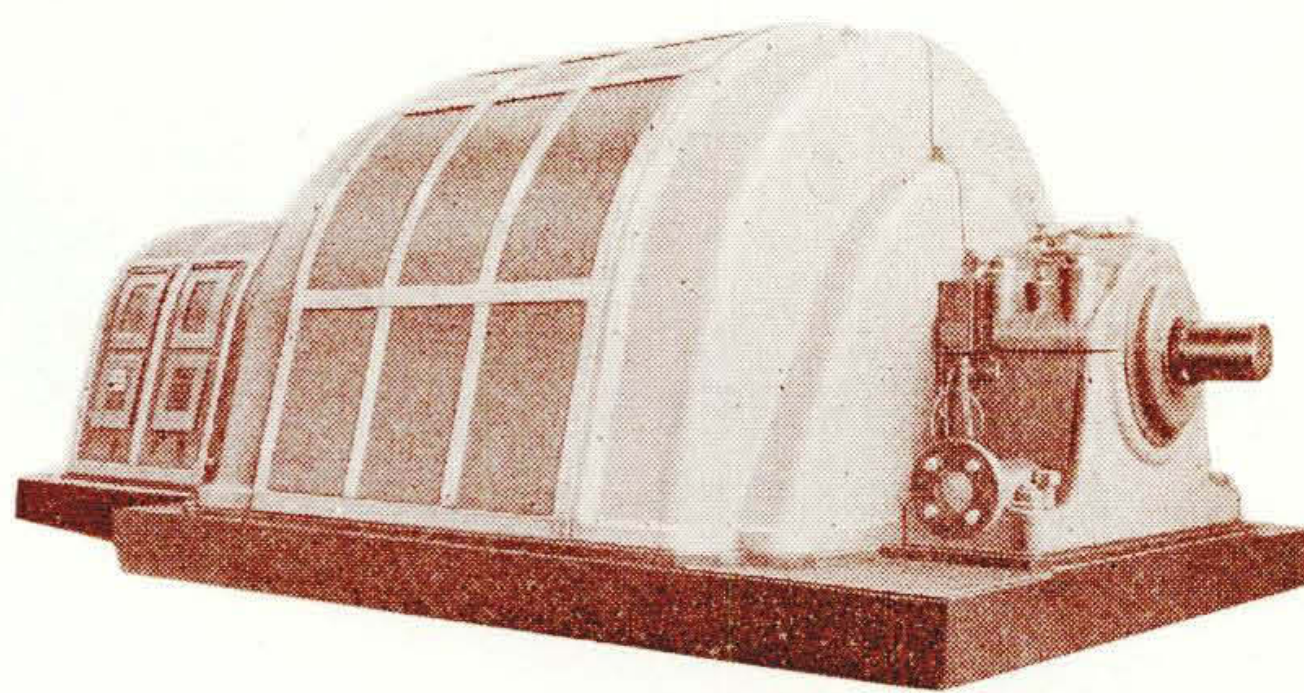
空気分離装置用ターボコンプレッサ駆動用として下記仕様の 4,000 HP 2 極電動機が完成, 西前田酸素工場へ納入された。

型式 EFBL-DRQ (閉鎖通風巻線型ペデスタル) 軸受強制給油式)

6,300 V 60~2 極 3,600 rpm 絶縁 B 種

日立製作所では戦前 2 極機ではわが国最大の 5,500 HP を製作し, 戦後も昭和 29 年本機とほぼ同一仕様の 4,000 HP を製作した。本機はこれらの経験を生かして製作されたもので, 軸方向長さの短縮, 回転子構造の改良をはかつて設計された結果, 機械的平衡の調整が容易であり, きわめて短時日の試験で出荷された。

なお本機は他冷却方式を採用し, 冷却風は回転油膜式



第3図 4,000 HP 2 極誘導電動機

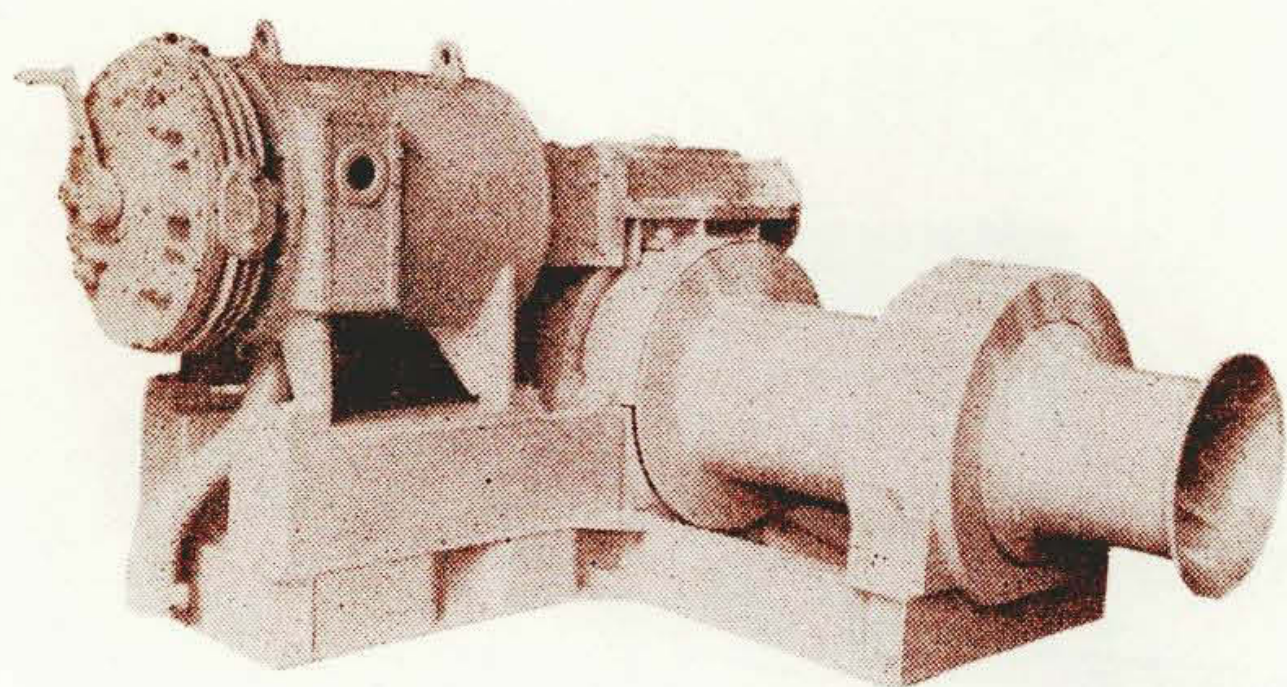
空気清浄器を通つてモータ本体に送り込まれる。固定子コイルには日立独得の SLS ワニスを使用し, コイルの柔弾性, 熱伝導を高めたほか, 形状の改良により製作の簡易化をはかっている。

新型交流ウインチ日立で完成

日立製作所日立工場では, このほど, 新型の船用交流電動ウインチを完成した。このウインチは 13 次船として日立造船で製作している山下汽船の貨物船山若, 山君丸に装備されるもので, 今回完成したのは, そのうちの山若丸用の 1 隻分で, 3 t の貨物を 1 分間に 30 m の速さで巻き上げる交流ウインチ 14 台のほか, 交流レオナード制御方式の 5 t 30 m/min のウインチ 4 台, 7 t 1 台もある。

このように貨物船が全船交流化され, しかもその荷役設備の大部分が, 交流誘導電動機により直接駆動されるウインチであるのは日本では珍しい。

日 立 ニ ュ ー ス



第4図 3t 30m/min 新型交流ウインチ

最近船価を安くする一環として、ウインチなど船の補機を安くすることがとりあげられ、活発に論議されているが、今までの直流より交流の方がウインチだけでなく、船全体の電気設備が安くなる。しかし、ウインチは貨物船の生命となるもので、使用頻度も激しく、仕様についても厳しい要求があり、直流電動機により駆動するウインチは、この要求を満足できるが、交流誘導電動機は直流電動機とちがつて、速度制御などに難があり、多くの試みがなされてきたが、なかなか成功しなかった。

日立製作所では、かねてから巻線形誘導電動機を使用する交流ウインチの試作研究を進めていたが、このほど直流ウインチに劣らぬ、きわめて性能の良いものの製作に成功したものである。

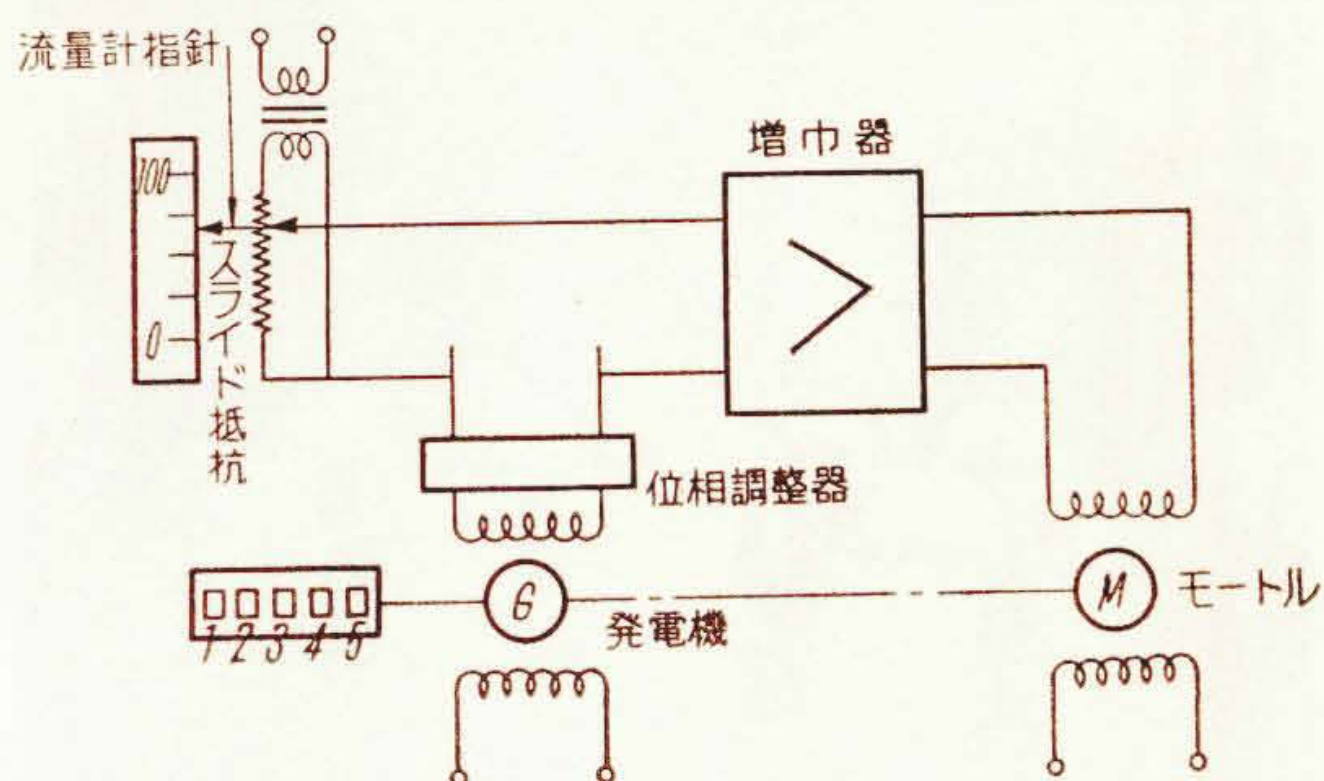
これが、前記、山下汽船の山若丸、山君丸用として、全面的に採用されたことは、船価の低減が強く叫ばれているおりからその意義は深いものといえよう。

山若丸は、間もなく、ニューヨーク定期航路につくことになっているが、交流ウインチの威力が遺憾なく発揮されるものと期待されている。なお、このほかに、佐野安ドックで建造中の同じ山下汽船の中型貨物船用ウインチとして、3t 40 m/min のもの6台、5t 24 m/min のもの4台、5t 船機1台を製作中であるが、これは全部、巻線形誘導電動機による駆動方式のウインチである。

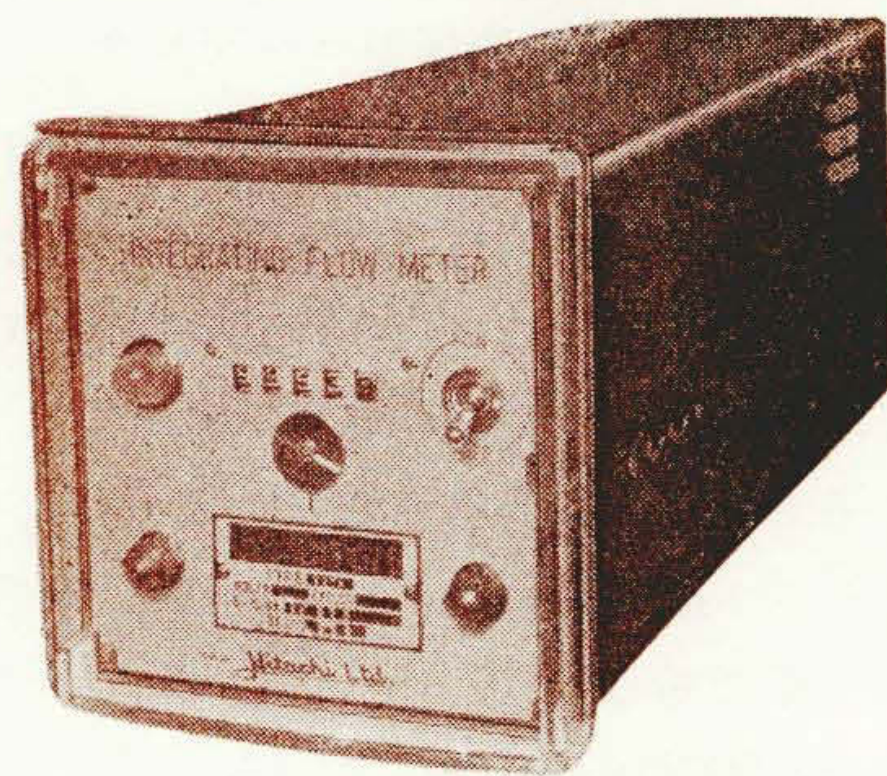
電子管式流量連続積算計

従来多数製作されている流量積算計は間欠的で、レバーにより指示計の流量指示をチェックし積算を行う方法であつたが、これでは十分な積算値が得られないので、連続積算を行う方法として電子管式流量連続積算計を製作した。

本器は電子管式自動平衡流量計と併用するもので流量計本体の指針と連動したスライド抵抗、真空管増幅器、モートル、モートルに機械的に結合している発電機およびカウンター、位相調整器よりなり、第5図のように一連の動作をなす。すなわち自動制御機構を使用してカウ



第5図 電子管式流量連続積算計接続図



第6図 電子管式流量連続積算計

ンタを動作させ連続的に流量を積算することができ、流量の変化の激しいところに使用しても高精度に積算が可能である。また自動制御機構を使用しているので、電源、電圧、周波数の影響も少ない。これは流量積算指示記録計とする他積分器としても使用可能で今後種々応用面が開拓される有望な製品である。

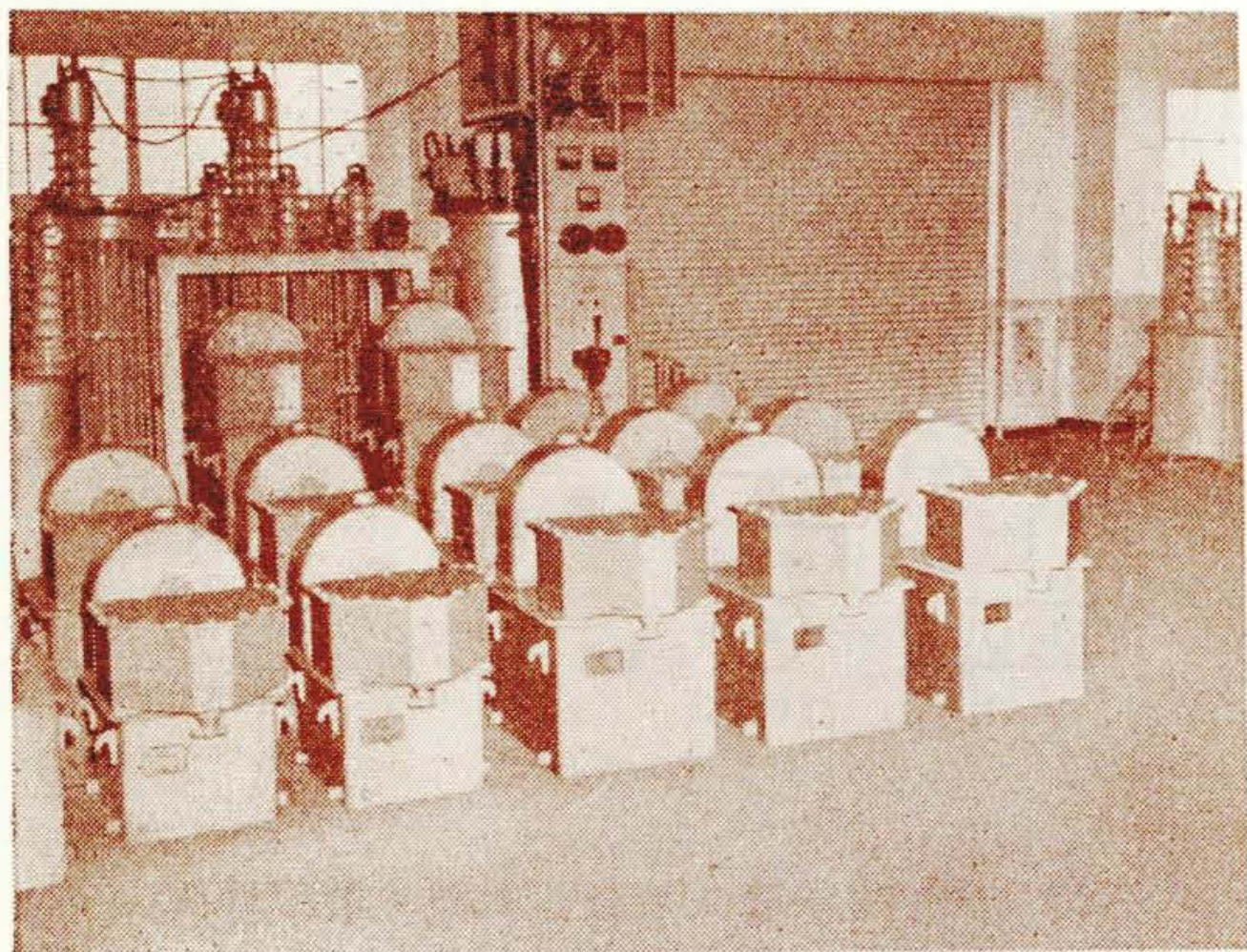
仕 様

外形寸法	150×150×402
操作電源	100Vまたは110V 50～または60～
使用真空管	12A×7 6AR5 6×4 各1本
積算表示方式	5桁現字型
積算許容差	最大指示値の±1%
周波数変動	±1～にて±1%
電圧変動	±10Vにて±1%
消費電力	20W

炭鉱向け防爆型コンデンサ完成す

このたび日本炭鉱株式会社二島納 200 kVA 防爆型コンデンサおよび放電コイル各10台、また常磐炭鉱株式会社納 50 kVA コンデンサ2台が通産省の検定に合格し出荷された。

一般に炭坑内や可燃性ガスの発生する工場では、こゝで使用される電気機器の不時の電気火花発生によるガス爆発の危険を避けるために防爆構造とする必要がある。従来コンデンサは坑外などの安全な場所に設置されたも



第7図 油入防爆型コンデンサ

のであるが最近坑口内の機械化も進み、切羽までの距離も長くなったので、他の電気機器とともに坑内設置が要求されてきた。本器はこの要望に応じて製作されたものであつて、構造上の特長としては

- (1) 端子部は完全に遮蔽されている。
- (2) 各ボルト締付部は特殊スパナによつてのみ取りはずし可能である。
- (3) 安全増防爆構造となつている。

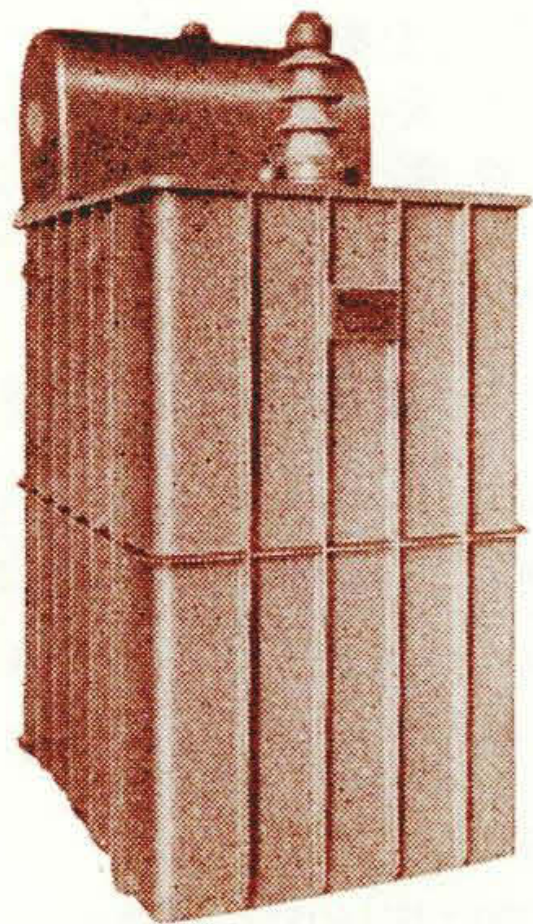
なお 3,300V (50 $\sim$ および60 $\sim$) コンデンサの標準容量としては次のものが準備されている。

25 kVA, 50 kVA, 100 kVA, 200 kVA, 250 kVA, 300 kVA

また 25 kVA コンデンサおよび放電コイルはフィーディングタンク不付 (型式 SOVXX-3R), その他はフィーディングタンク付 (型式 SOFVXX-3R) となつている。

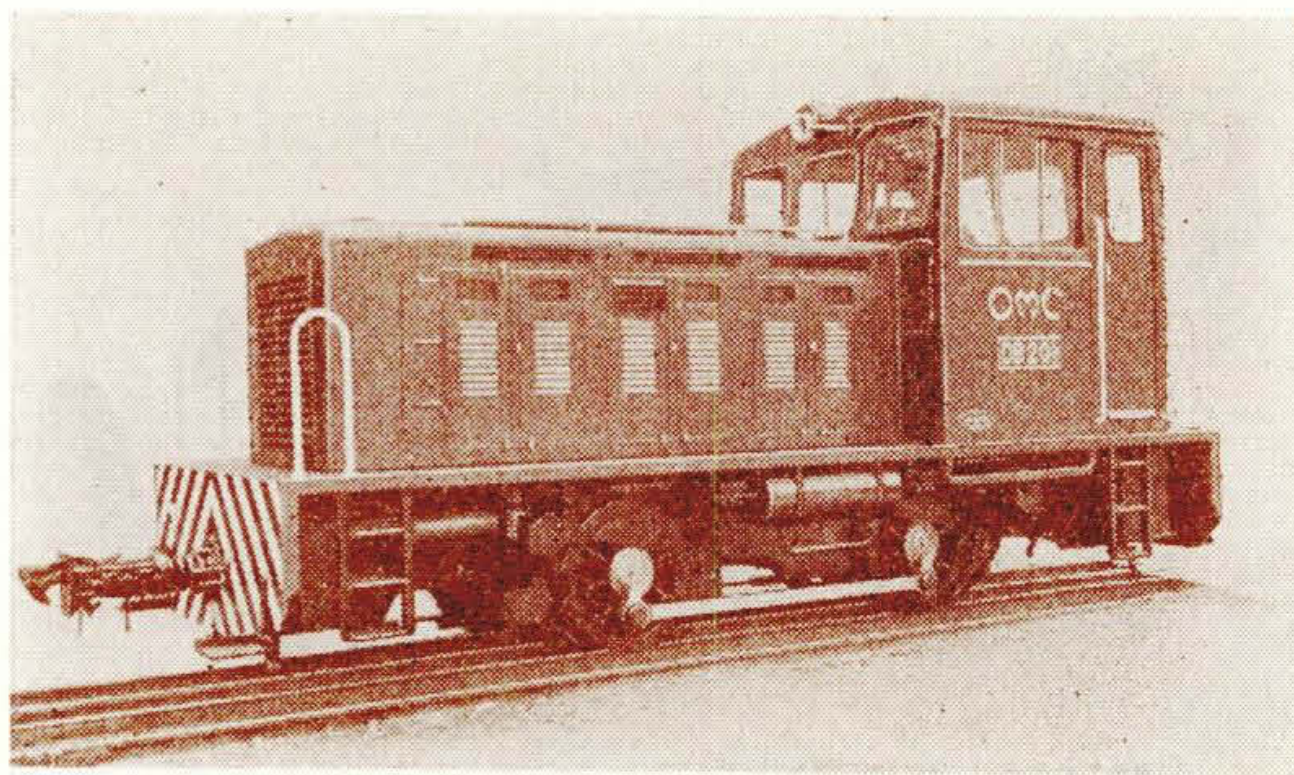
1,200 kVA コンデンサ完成

今回単器容量 1,200 kVA のコンデンサが完成した。これはわが国における記録品である。最近は大容量変電所が都市の周辺または都市内に設けられる傾向にあるので、この場合これらの変電所の面積を縮小し、設備価格を切り詰めるため、ここに設けられる機器の単器容量を大きくすることが望まれている。このコンデンサはこの要望に応ずるため製作されたものであつて、性能も十分満足なものである。



第8図 1,200 kVA コンデンサ

容量	1,200 kVA
周波数	60 $\sim$
端子電圧	19,000V
回路電圧	66,000V



第9図 マラヤへ輸出される 20 t ディーゼル機関車

マラヤへ輸出された日立ディーゼル機関車

マラヤ半島ケランタン州タマンガ山において、タマンガ山駅と、鉱山間の通勤列車牽引用ならびに鉱石運搬用として使用せられる 20 t ディーゼル機関車がこのほど、日立製作所笠戸工場において完成、輸出された。

現地の気温は年間平均 30 $\sim$ 35 $^{\circ}$ C という高温で、湿度は 90 $\sim$ 95% という高湿度、このような高温多湿のところで使用せられるのであるから、この点を特に考慮した構造としてある。

特に塵埃の多いところで使用せられるので、その点も考慮し、連結棒の摩耗防止に防塵装置を設けて、保守上の対策を払つてある。また運転室窓は熱線吸収ガラスを使用した。特にこの機関車は構造堅固で、運転操作を容易にした優秀なものである。

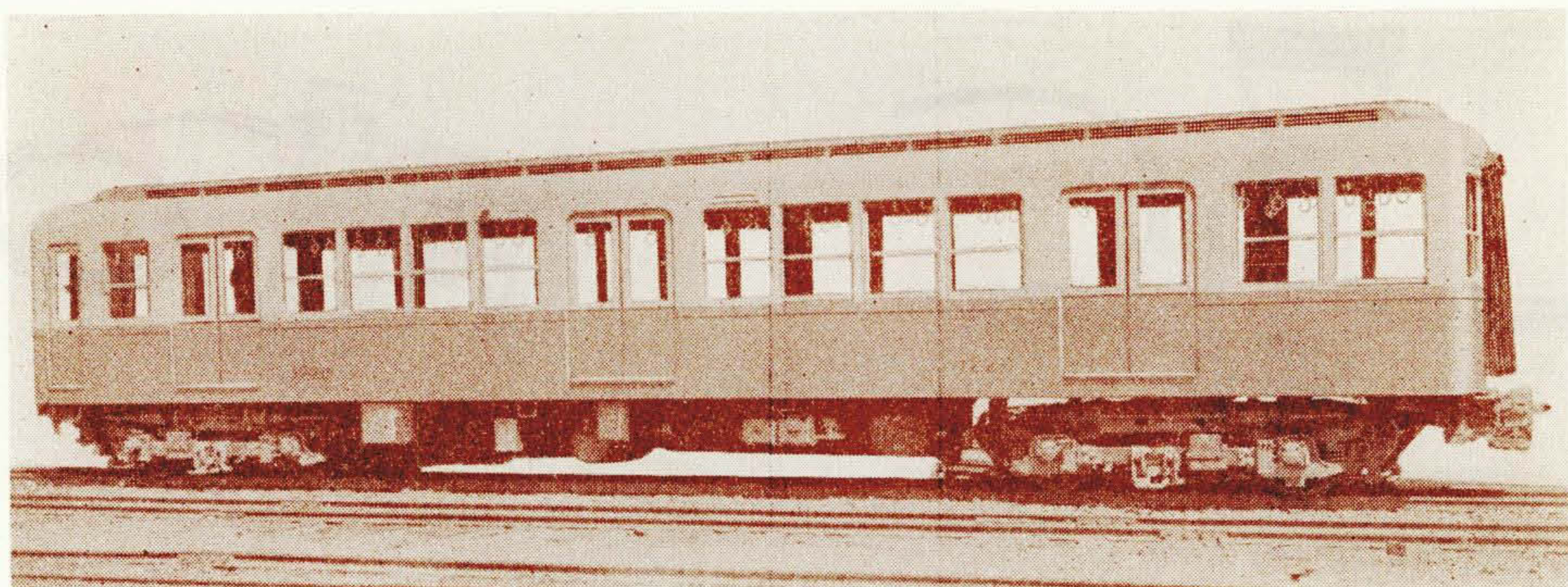
主要要目は次のとおり。

主 要 要 目

型式.....	エンドキャブ型 2 軸ロッド駆動式
軌間.....	1,000 mm
運転整備重量.....	20 t
車体寸法.....	長 $\times$ 幅 $\times$ 高 8,204 $\times$ 2,525 $\times$ 3,395mm
ディーゼル機関	
型式...	予燃焼室式水冷 4 サイクル 8 シリンダ直列型
定格出力.....	135 HP (1,500 rpm)
液体変速機	
型式.....	リスホルムスミス式
種類.....	3 段タービン
ブレーキ装置.....	単独空気ブレーキおよびネジ式手ブレーキ

大阪市交通局納地下鉄電車完成

輻輳する地上の交通を緩和するために製作された地下鉄電車は、忙しい市民の足となり、混雑する都会の交通機関として大いにその利用価値を発揮している。



第10図 大阪市交通局納地下鉄電車

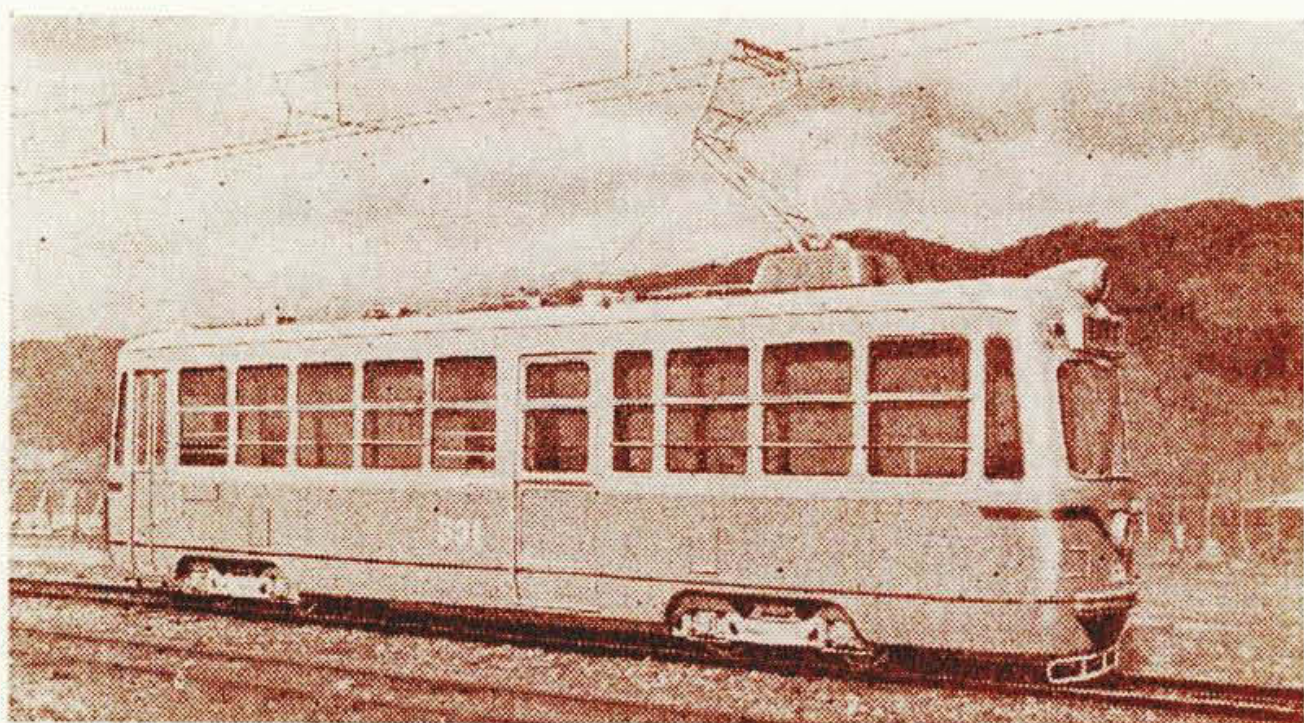
昨年秋、大阪市に納入した地下鉄電車2輛は引続き好調に運転中であり、さらに追加分として発注された新しい型式の地下鉄電車2輛が、このほど日立製作所笠戸工場において完成、ただちに納入された。

本電車は終始地下を走るのので、火災に対してはもちろん、各部が安全第一に作られており、また防音、防振には特に留意し、円滑に運転できるよう考えられている。今回製作した電車の特長は次のとおり。

- (1) 室内の内張には一部軽合金材料を用い、腰掛のケコミ板にはアルミヒッターライトを使用、地下鉄道運転のため耐火に十分留意した。
- (2) 側出入口扉は、両開き方式として広くしてあるので、混みあう乗客の乗り降りに便利である。
- (3) 車体外板および屋根裏には1in厚のガラスウールを張り、床は上張りとキーストンプレートの間に、コンベスを張って防音、防熱には特に留意してある。

主 要 要 目

定 員.....	120 人
自 重.....	37 t
軌 間.....	1,435 mm
車体寸法... 長×幅×高	17,700×2,890×3,746mm
台 車.....	ウイングバネ式一体鋳鋼
電気方式.....	DC 750 V 第三軌条式



第11図 札幌市交通局納全金属製二軸ボギー電動車

スマートな札幌市電納新車完成

北の国、札幌市の市内用電車としてこのたび、市交通局から受注した路面電車5輛は、斬新な各種の特長をとり入れ、日立製作所笠戸工場において設計製作された。スマートで好感のもてるタイプとして札幌市の市民に歓迎されるものと信じて疑わない。

特に運転室前の正面窓は、広い一枚ガラスを使用しているので、見通しも良く、明るい感じになつている。

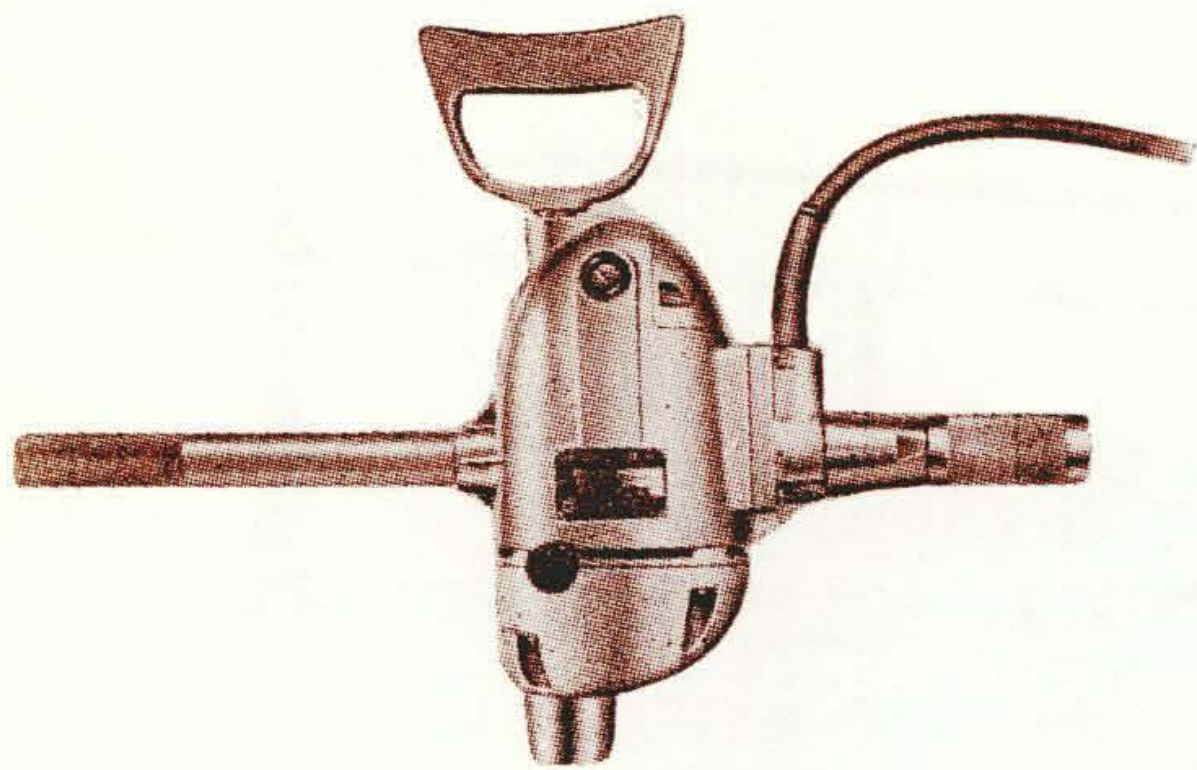
車体も、下側をしぼつて丸味をもたせてあるので、見た感じが大変柔かくなつている。その主なる特長を列挙すれば次のとおりである。

特 長

- (1) 凍結防止として、次のような対策を施してある。
 - (a) 正面窓、および床下空制部品にはアルミヒーターを設けた。
 - (b) 床下配管の管径をひと回り大きくしてある。
- (2) 正面窓は、曲面1枚窓ガラスとし、見通しを良くしてある。
- (3) 窓ガラスは、冷暖房のための処置として、熱線吸収ガラスになつている。
- (3) 車体は両端および車側をしぼり、スマートな外形としてある。

主 要 要 目

- (1) 定 員.....86人
- (2) 自 重.....13.5 t
- (3) 軌 間.....1,067 mm
- (4) 車 体 寸 法.....長×幅×高 12,500×2,230×3,185 mm
- (5) 主 電 動 機.....40 kW×2 釣掛式
- (6) 暖 房 装 置.....運転室、客室にヒータ空制部品、正面窓にアルミヒーター



第12図 DU-PN形 3/4" 電気ドリル

DU-PN 形 3/4" 電気ドリル新発売

3/4" 電気ドリルは木工建築用および鉄骨橋梁土木各種工事用のほか車輜製罐一般機械工場などの必需品として広く普及しているが、その強力軽量化は久しく要望されていた。日立製作所ではこの要望にこたえて、このほどDU-PN 形 3/4" 電気ドリルを新発売した。この新形の特長と仕様は次のとおりである。

特 長

- (1) 回転力は強く、かつ小形。
- (2) 減速には特殊ギヤを採用、またハンドルは使いやすく、堅牢優美なオールダイカスト。
- (3) 重量は 8kg で使いやすい。
- (4) 寿命の長い独特の回転式スイッチ。

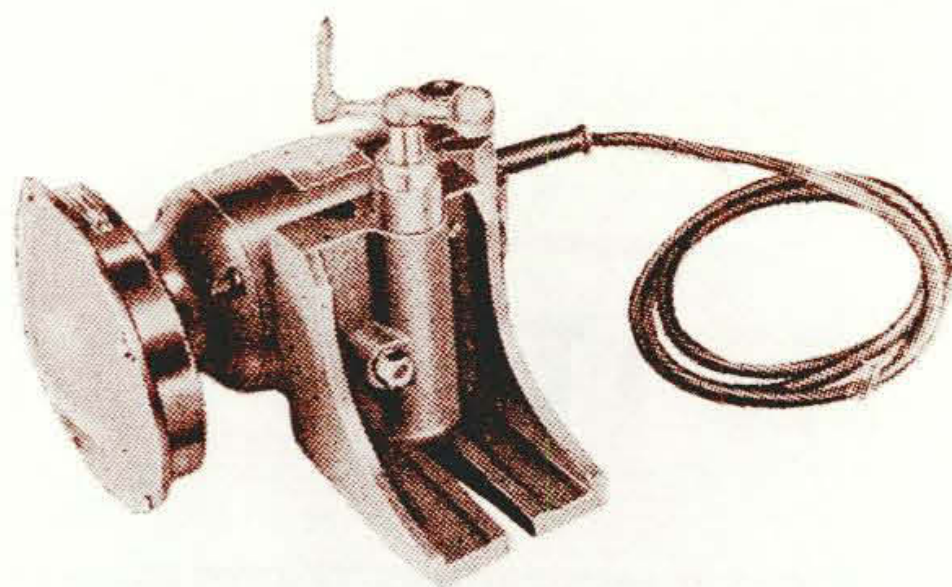
仕 様

形 式	DU-PN形
電 源	交直両用 50/60~
電 圧	100V用, 200V用
無負荷回転数	500 rpm
全負荷電流	8A (100V), 4A (200V)
全負荷回転数	250 rpm
重 量	8 kg
標準付属品	予備カーボンブラシ 2 個 アースクリップ付3心キャ ブタイヤコード 2.5 m付
定 価	¥ 19,000

8" アングルプレートグラインダ発売

日立製作所ではこのほど、旋盤、プレーナなどに簡単に取り付けて精密研磨作業のできる 8" のアングルプレートグラインダを発売した。

従来研磨作業は高価の専用研磨盤に頼っていたが本機は旋盤に取り付ければ外面研磨盤となり、またプレーナにつければサーフェスグラインダとして平面研削ができるので、すでに販売しているツールポストグラインダと



第13図 アングルプレートグラインダ

併用してあらゆる研磨作業に高能率を上げることができる。

特長と仕様は次のとおり

特 長

- (1) 頑丈な構造でいつまでも高い精度を維持する。
- (2) この種 8" としては最も軽く扱いに便利である。
- (3) アンギュラ、コンタクト形特殊ベアリングの使用によりがたつかない。
- (4) 砥石カバーは鋼板プレス製で 360 度自由に回転し、調節できる構造で、労働省安全研究所の合格品。
- (5) モートルの前面を平にして従来品より砥石の有効使用範囲を高めた。
- (6) モートルは連続定格の閉鎖通風形の三相交流誘導電動機を使用し、温度上昇がきわめて低く、完全なバランス取り機構で高精度の加工ができる。

仕 様

形 式	GAT 形
電 源	三相交流 50/60~
電 圧	200V
電動機馬力	1/2 HP
全負荷電流	1.9A
無負荷時回転数	50~ 3,000, 60~ 3,600 rpm
全負荷時回転数	50~ 2,850, 60~ 3,400 rpm
定 格	連続
砥 石	8"×3/4"×5/8" WA 46, L. V
切 込 量	15/1,000mmまで
加工物 1 回転当りの切削送り	約 3 mm
重 量	28 kg
荷 造 重 量	38 kg
	3 心キャブタイヤコード 2.5m付
価 格	¥ 39,200

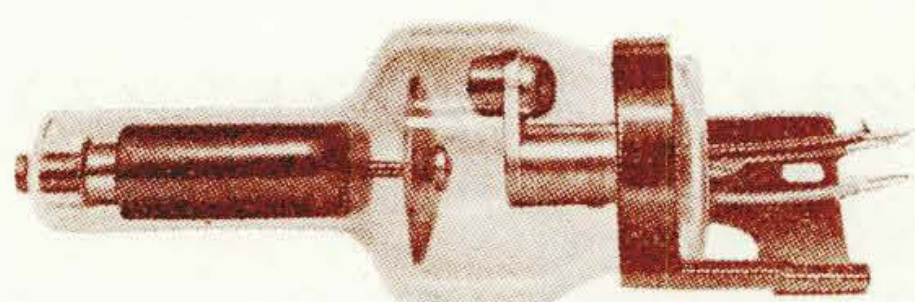
高電圧精密撮影用回転陽極X線管

ヒ ッ タ ー ノ ード DOR-533 完 成

日立製作所茂原工場では、ヒッターノード（回転陽極X線管）DOR-533 を完成した。

この品種は従来品種の DOR-532 に比べて実効焦点が小さくなっているため、微小焦点拡大撮影ができ、したがって鮮明な写真が得られ、細部の精密な診断が容易に

日立 ニ ュ ー ス



第14図 ヒッタノード DOR-533

できる特長がある。概略定格は次に示すとおりである。

概 略 定 格

外形寸法	全長307mm (口金なし) 最大部径 108 mm
冷却方式	油浸
電氣的定格	
最大使用電圧	125 kVP
最大逆耐電圧	125 kVP
回路	全波整流
電源周波数	50~

実効焦点 (mm)	最 大 定 格			フィラメント加熱	
	管電圧 (kVP)	管電流 (mA)	通電時間 (s)	電 圧 (V)	電 流 (A)
1.5×1.5	125	200	0.1	4~12	3~5.5
	125	140	1		
	85	4	連続		
0.3×0.3	100	20	0.1	3.5~9.5	3~5
	100	16	1		
	85	4	連続		

観測用二要素，後段加速
ブラウン管 5SP7A 完成

日立製作所茂原工場では二要素，後段加速，残光性の観測用ブラウン管 5SP7A を完成した。

これは従来品種と異なり，同一バルブ内に2個の電子銃が封入されているため，同一蛍光面に二つのものを同時に観測することができ，特に相互関係のあるものの観測などには非常に好適な品種である。なお一般観測用の5SP1Aをもほどなく完成する予定である。

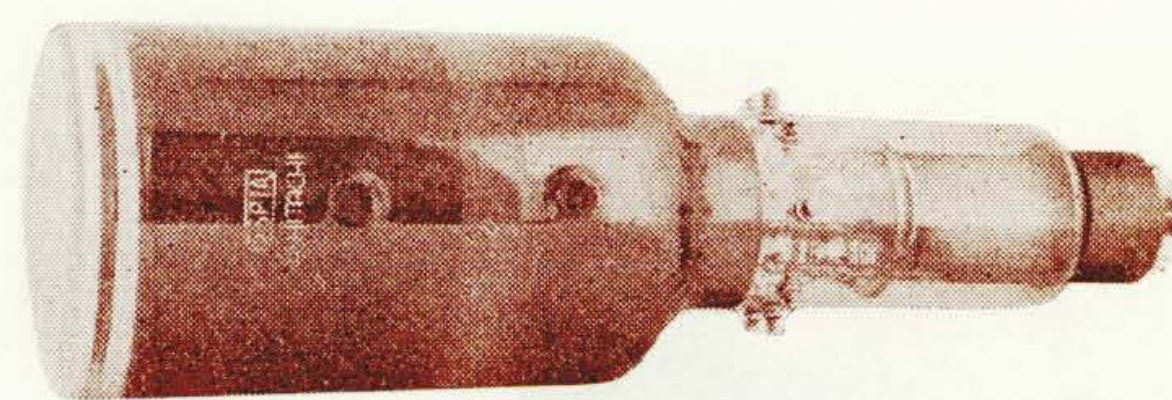
5SP7A の概略定格は次のとおりである。

概 略 定 格

用途	残光性観測用
方式	静電偏向，静電集束，後段加速，2要素
構造	丸型フラットフェースバルブ
外形寸法	全長464mm，最大部径133mm
口金	ダイヘプタル12脚，スモールボールキャップ，ミニアチュアキャップ
蛍光色	青
残光	黄，長い

使 用 例

ヒータ電圧	6.3 V
-------	-------

第15図 観測用二要素，後段加速ブラウン管
5SP7A 完成

ヒータ電流	0.6 A (各要素)
第3陽極電圧 (後段加速電圧)	3,000 V
第2陽極電圧 (加速電圧)	1,500 V
第1陽極電圧 (集速電圧)	275~525 V
格子遮断電圧	-22.5~-67.5 V
偏向率 X軸	21.6~32.7 Vdc/cm
Y軸	18.5~27.9 Vdc/cm

FMラジオ用三2極，
3極複合管 6T8 完成

日立製作所茂原工場では，mTタイプで2極管部，双2極管部，3極管部からなる複合管 6T8 を完成した。

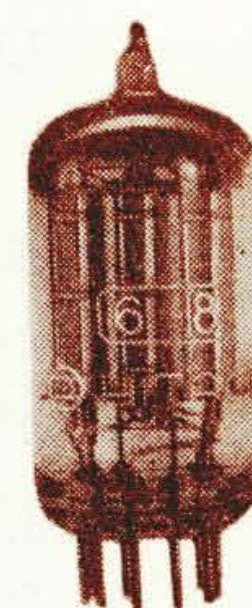
この6T8は，FMラジオおよびテレビ用として開発されたもので，AM検波，FM検波および音声周波増幅用として設計されたものである。

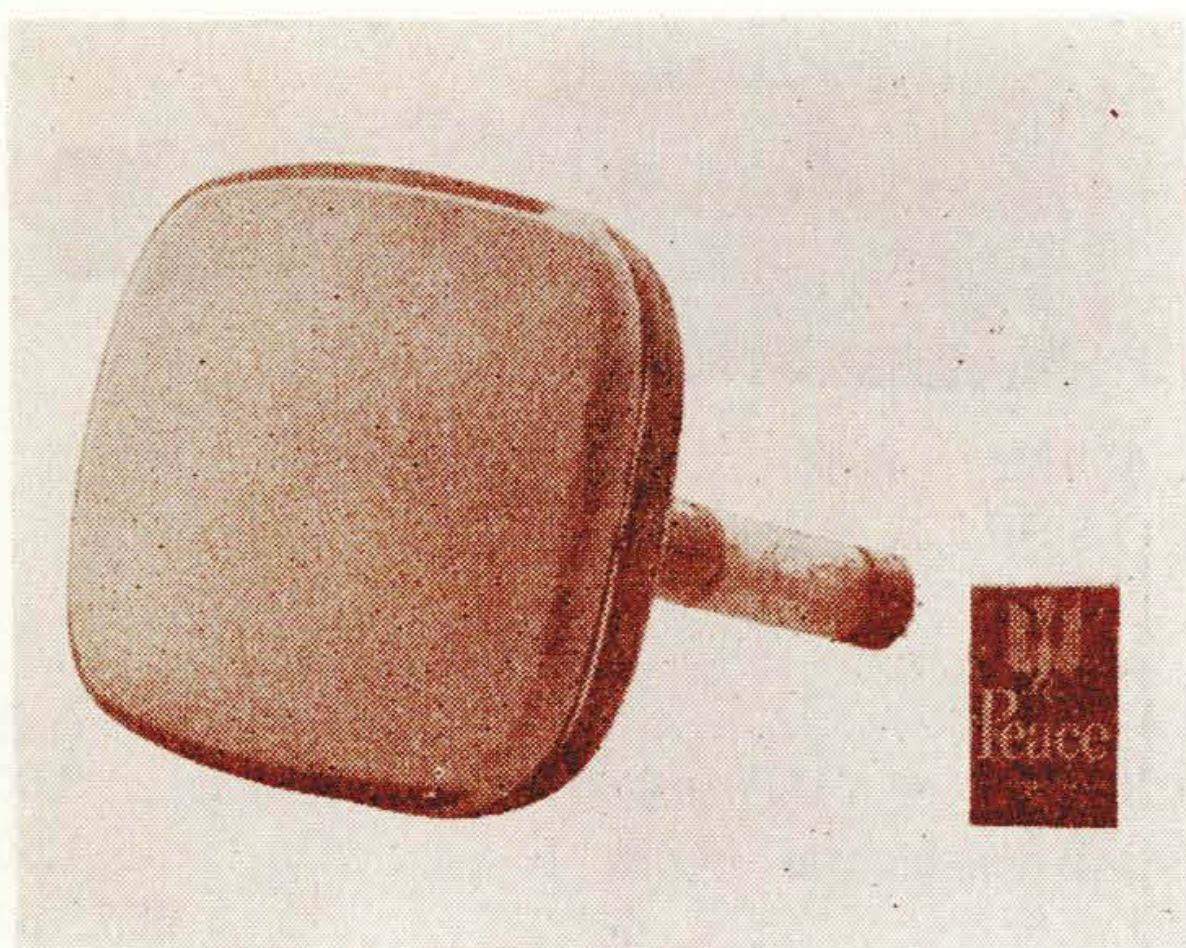
特長としては，双2極管部と3極管部のカソードは共通であるが，2極管部のカソードはまったく別個にされているため，テレビセットの映像検波，音声検波，音声増幅が同時に1本の球ででき，したがってコンパクトな回路の設計ができる。またほかにAM，FMラジオの検波段，音声周波増幅段にも好適である。

概略定格は次に示すとおりである。

概 略 定 格

陰 極	傍熱型酸化物塗布
口 金	ミニアチュアボタン9ピン
外形寸法	全長 56mm max, 最大部径 22.2mm max
ヒータ電圧	6.3 V
ヒータ電流	0.45 A
電氣的最大定格	
プレート電圧	300 V max
グリッド電圧	0 V max
プレート損失	1.0 W max
尖頭ヒータカソード間電圧	90 V max
動作中の2極部電流 (各ユニット)	...5.0 mA max

第16図 三2極，
3極複合管 6T8



第17図 ハンドテレビ用ブラウン管
10 ABP 4C

ハンドテレビ用 10" 角型ブラウン管

10 ABP 4C 受注開始

日立製作所茂原工場では、ハンドテレビ用ブラウン管 10" 角型 10 ABP 4C の受注を開始した。

従来までの 10" のテレビ用ブラウン管 (10 BP 4A) は丸型、電磁偏向で画面のわりに形が大きいのが欠点とされていたが、今回の 10 ABP 4C は角型 90 度偏向、静電偏向でいちじるしく小さくなっている。このためセットが非常にコンパクトになり、ハンドテレビやアパートなどの狭い部屋、または旅館、ホテル、病院などの各部屋に設置する小型テレビなどに最適なものである。またこのほかにもモニター用、工業テレビ用としても用いられる。

概略定格は次のとおりである。

概 略 定 格

構造寸法

受 像 面	角型フィルターガラス
蛍 光 体	白色メタルバック
集束、偏向方式	静電集束、電磁偏向
偏 向 角	90度
全 長	302 mm
フェースプレート対角線径	264 mm
フェースプレート長径	248 mm
フェースプレート短径	191 mm

陽 極
口 金

電氣的定格

ヒータ電圧	6.3 V
ヒータ電流	0.6 A
最大陽極電圧	12,000 V
最大第 4 格子電圧	-500 ~ 1,000 V
最大第 2 格子電圧	500 V
最大第 1 格子電圧	0 ~ -140 V

17" "シネラミック・サウンド" システムの SMY-490 型日立テレビ発売

このほど日立製作所から最新型シネラミックサウンドシステムの 17" 遠距離用 SMY-490 型テレビ受信機が発売された。このセットは脚付でスマートなコンソレット型であるが、付けはずし自在の脚をはずすことにより、卓上型にもなる設計である。

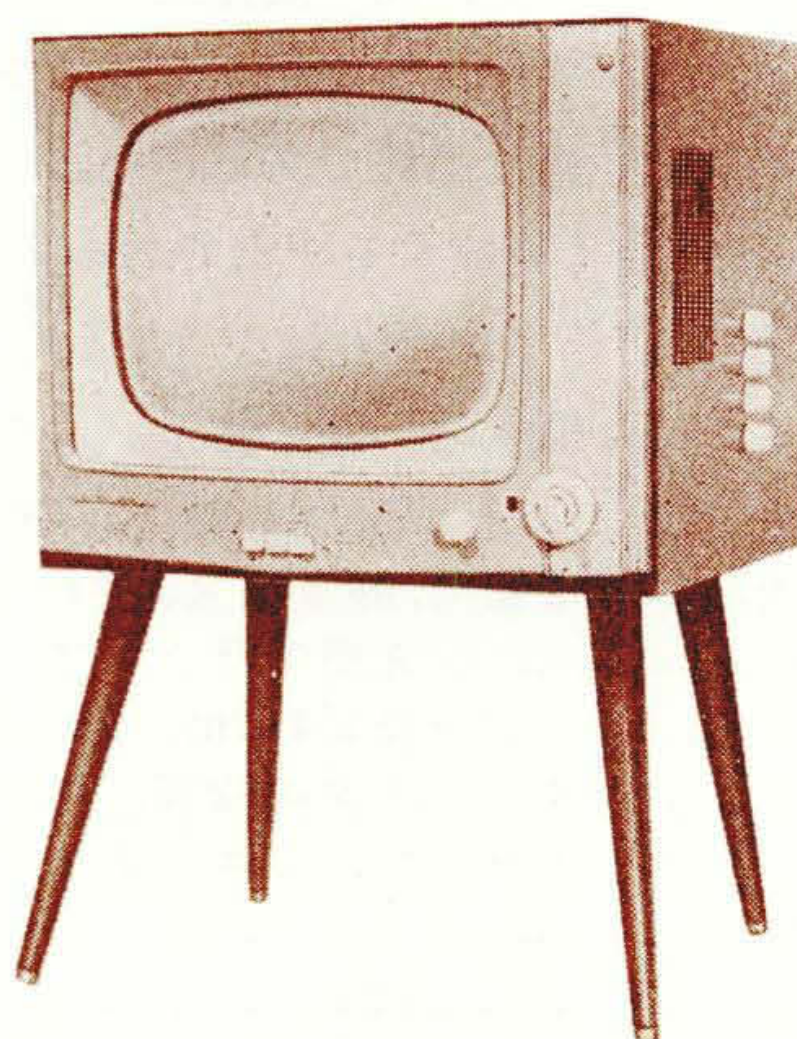
このセットの音響方式は、すでに発売中の FMY-320G 型と同じく、丸型ダブルコーンスピーカによる日立独自の前面音響方式 "シネラミック・サウンド" システムを採用したもので、今までのだ円型スピーカーを使つた前面スピーカー方式より、音質がぐつと向上されており、またプッシュボタンシステムの音質切換も採用されている。

使用真空管はさきの SMB-300 型と同一であるが、回路は各部に改良を加え、性能は一段と向上している。

価格も低廉となつているので、営業用にはもちろんのこと、家庭用にも学校用にも好適である。規格は下記のとおりで、価格は現金正価 99,500 円 (脚付)。

規 格

受 信 方 法:	インターキャリヤ方式
受 信 周 波 数 帯:	第 1 ~ 第 12 チャンネル切換
使 用 真 空 管:	16 球 (ブラウン管とも) 日立 4BQ7-A, 5J6, 3CB6×2, 5U8, 12BY7-A, 3AU6, 6BN8, 5AQ5, 6CG7, 6CS7, 12BH7-A, 12DQ6-A, 12AX4-GTA, 1X2-B
使用ブラウン管:	日立 17AVP4A (17 in 角型 90 度 偏向メタルバック、自動焦点式)
音 声 出 力:	2 W
使 用 電 源:	100 V 50/60 ~ (90V, 110 V 切換 タップ付)
消 費 電 力:	135 W



第18図 17" シネラミックサウンドシステムの
SMY-490 型日立テレビ

日 立 ニ ュ ー ス

スピーカ: 6.5" Hi-Fi 型 (ダブルコーン)
 パーマネントダイナミックスピーカ
 アンテナ入力: 300 Ω 平衡型
 インピーダンス:
 外形寸法: 幅 580 mm 高さ 470 mm (脚
 付 790 mm) 奥行 490 mm
 重 量: 28 kg

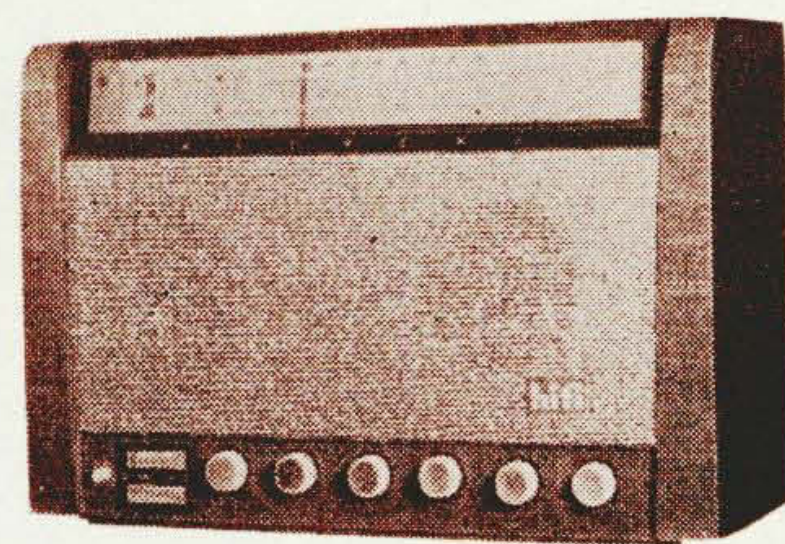
最高級ハイファイ 2 バンドオールウェーブ ラジオ「S-500 型」発売

日立製作所ではこのほど超広音域サウンドシステムと高周波 1 段増幅回路付を採用した最高級ハイファイ 2 バンドオールウェーブラジオ「S-500 型」を発売した。

このセットは 8" と 6.5" のダブルコーンスピーカを 2 個使ったもので、迫力のある美しいハイファイ音が楽しめるとともに日立 6R-DHV1 を使用した高周波 1 段増幅回路の採用により、5 球で遠くの放送も明瞭に受信できる遠距離受信型である。セット内部には自蔵のキャパシティブアンテナに加えて、前面のツマミで自由に向きが変えられる高感度なフェライトアンテナを内蔵しており、雑音のない安定な受信ができる。規格は次のとおりで現金正価 23,800 円である。

規 格

回路方式:	高周波 1 段増幅付 5 球 2 バンドスーパーヘテロダイン方式
受信周波数帯:	BC バンド 535~1,605 kc SW バンド 3.8~12 Mc
中間周波数:	455 kc
使用真空管:	6BA6高周波増幅管 6BE6周波数変換管 6R-DHV1中間周波増幅兼低周波増幅管 6V6-GT電力増幅管 5Y3-GT両波整流管 6Z-E1同調指示管
ゲルマニウム ダイオード:	1N34A検波兼自動音量調節
感 度:	BC バンド 10 μ V/500 mW 輻射感度 100 μ V/500 mW SW バンド 10 μ V/500 mW
出 力:	4.5 W (無歪) 5.5 W (最大)
電 源:	100 V 50/60 $\sim$ (85 V 110 V 切換タップ付)
消費電力:	65 VA
スピーカ:	日立 8 in (ダブルコーン) パーマネントダイナミック型 日立 6.5 in (ダブルコーン) パーマネントダイナミック型
アンテナ:	キャパシティブ アンテナおよび回転式フェライトアンテナ自蔵 室内アンテナ付属
寸 法:	幅 620 mm 高さ 410 mm 奥行 250 mm
重 量:	13 kg



第 19 図 最高級ハイファイ 2 バンド
オールウェーブラジオ S-500 型

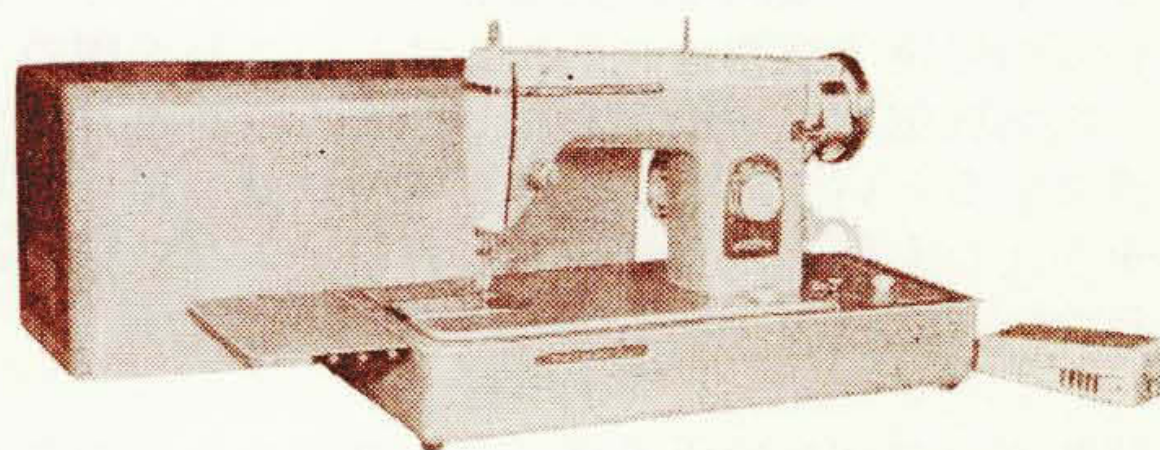
普及型卓上用電気ミシンを発売

日立製作所では、かねてより試作研究中の既販各種足踏式ミシンの頭部を付けた普及型卓上用電気ミシンを 5 月下旬よりいつせい市販を開始した。

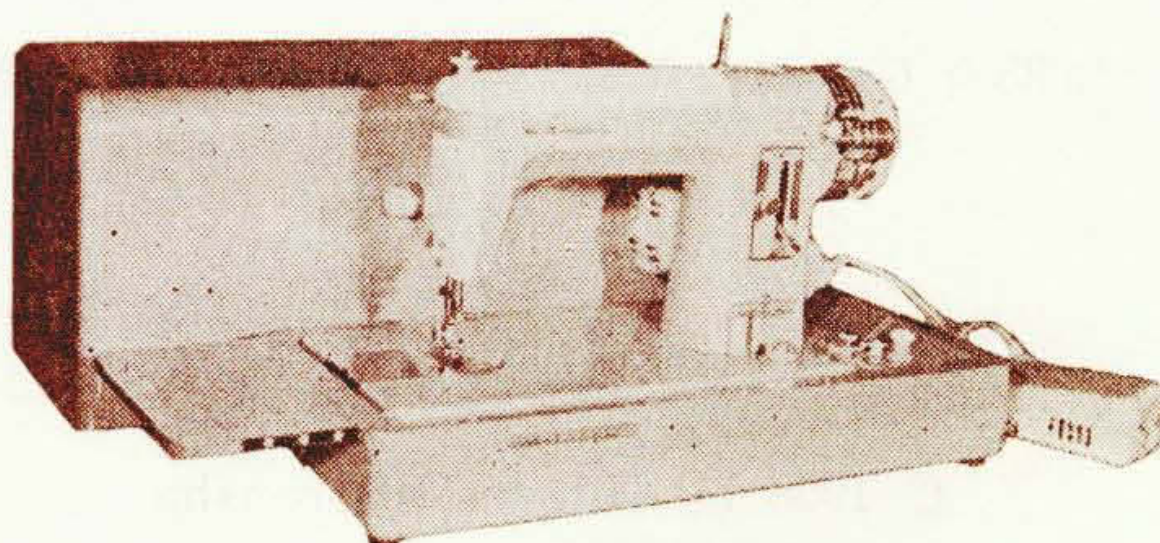
今回発表の卓上用電気ミシンには次の四機種がある HLM-400 型, HCM-300 型, HLM-210 型, HCM-220 型 この「普及型卓上用電気ミシン」は狭い場所にでも自由に使える、価格も低廉で家庭用にはもちろんのこと学校用、業務用にも好適であり、特にアパート生活者が増加している昨今、お嫁入り道具のニューフェースとして大きくクローズアップされている。

そのほかにこの卓上用電気ミシンの特長として

- (1) 定評ある日立ミシンモートルが取り付けられてあり、ご家庭の電灯線から簡単に使用できる。
- (2) 裁縫速度はコントローラーの踏み加減によつて自由に調節できる。
- (3) 内三機種は明るいミシンライト付きですから、お部屋の照明に関係なく常にお手許が明るく、お仕事の能率を倍加させる。

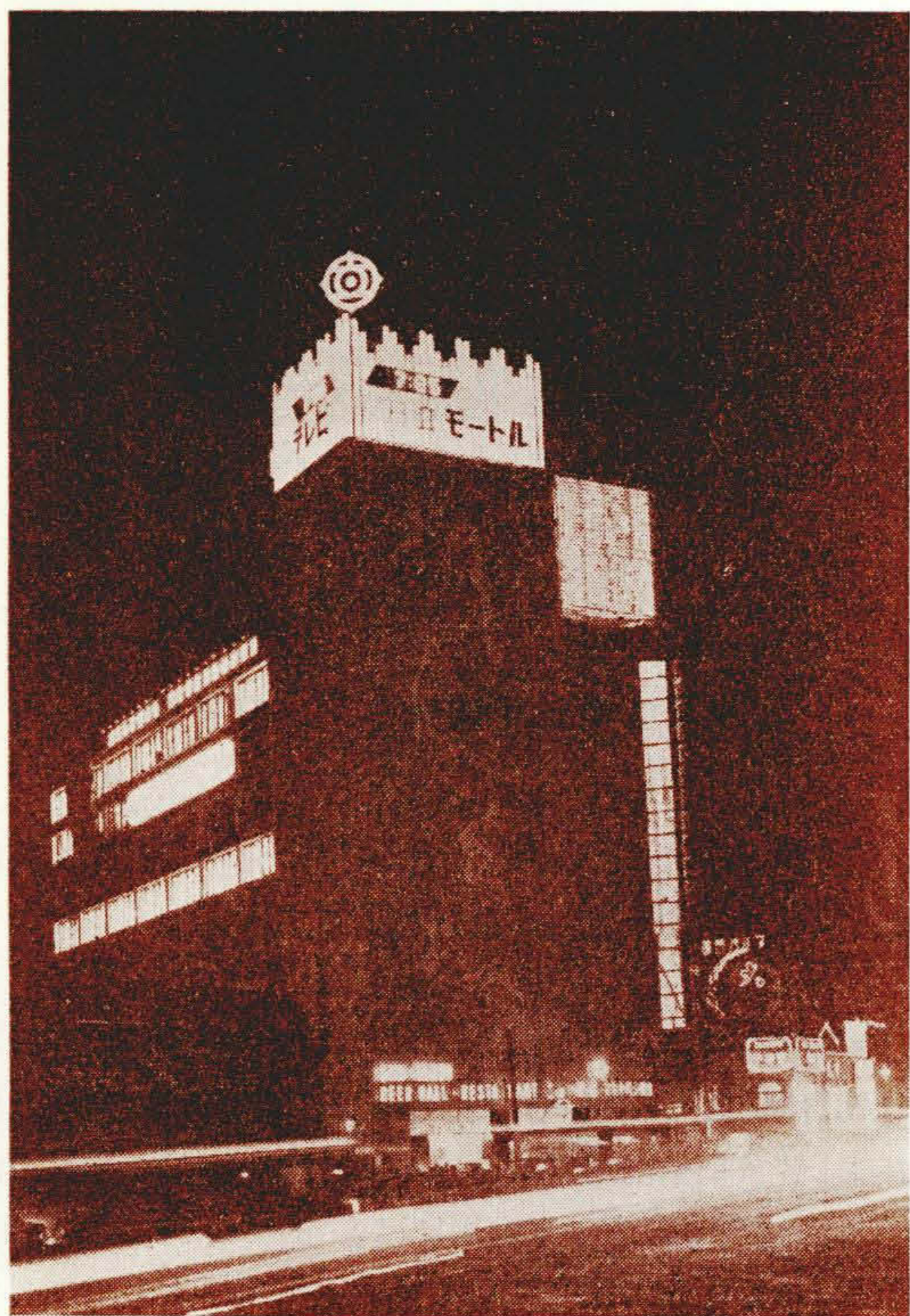


第 20 図 HLM-400 型 卓上用電気ミシン



第 21 図 HCM-300 型 卓上用電気ミシン

日立 ニ ュ ー ス



銀座の夜空に輝く電光時計つき

日立 ネオン点灯

東京銀座のニュートンキョービル屋上に鋭意施設中であつた日立ネオンがいよいよ完成、銀座の夜空に七色の光彩を輝かせ、東京の新名所となつている。

日立製作所では、さきに大阪新世界に世界一のマンモス寒暖計つきネオン塔を設置して、商都大阪名所となつたが、今回のネオンもプラスチックパイプで構成された優美な塔状で、パイプが七色の変化を見せ、それに時々時刻を明示する電光時計が三面にとりつけられ、塔上には高さ35尺の日立マークが回転している。

ニュートンキョーのビルの壁面は東郷青児画伯のデザインであり、それにマッチしたエレガントなネオン塔として、街ゆく人々から注目されている。

第22図 銀座ニュートンキョービル屋上の日立ネオン

編集後記

最近日立製作所で製作されタイに輸出された 950 HP ディーゼル電気機関車は、土地柄高温多湿にたえることを必要とするだけでなく、軌間1mという苛酷な制限にもかかわらず、数々の高度な性能を盛込んだものとして注目に値する製品といふことができる。元来タイは米国について鉄道のディーゼル化には古い歴史をもっており、したがつてこの国の鉄道には、スイス、デンマーク、アメリカ、ドイツなど、さまざまな国のさまざまなディーゼル機関車が使用されているが、そのようないわば国際競争場裡において、はじめてわが国のディーゼル電気機関車が採用され、しかもこれがきわめて好評を得ているということは、わが国の車輛産業に明るい希望を与えたものとしてまことに喜ぶべきことといわねばならない。

○

負荷時タップ切換変圧器は、タップ切換装置のひんば

んな開閉操作にもかかわらず長年月の使用に耐える必要があり、この点で設計製作上にも種々の苦心が払われている。本号では最近製作され負荷時タップ切換変圧器の中で、容量上の記録品、方式上の新製品、構造上の新製品など、注目すべき二、三の実例をとりあげて解説し、電力系統の合理的な運転制御を行うために、近來ますます広く採用される傾向にあるこの種の変圧器の製作について、参考となるべき資料を提供した。

○

一家一言には名古屋工業大学清水学長の玉稿をいただくことができた。御多忙中を特に本誌のために玉稿を賜わつた清水学長の御好意にたいし、誌上をかりて厚く御礼を申上げる次第である。

○

本号には、恒例によつて前半年分の総目次を巻末に添えた。御利用いただければ幸甚である。

日立評論 第40巻 第6号

昭和33年6月20日印刷 昭和33年6月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料 12円)

© 1958 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人 鈴木 万 吉
印刷人 本 間 博
印刷所 株式会社 日立印刷所
発行所 日立評論社
東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地
電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311
振替口座 東京 71824 番
取次店 株式会社 オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座 東京 20018 番

広告取扱店

広 和 堂

東京都中央区新富町2丁目16番地

電話 築地 (55) 9028 番